

入学生を代表して決意を述べる稲垣さん  
(中央) =岐阜市東鶉の岐阜保健大で



## 4年制開学 初の入学式

岐阜保健大 98人 看護師目指す

四年制大学として、本年度に開学した岐阜保健大の入学式が二日、岐阜市東鶉の岐阜保健大講堂であり、看護師を目指して九十八人が看護学部に入學した。

河田美紀学長は式辞で「この学びやで医療人としての心を鍛えてほしい」と激励。新入生を代表して、多治見北高校出身の稲垣緩南(なぐさ)さんが「立派な医療人になれるよう、一生懸命勉学することをここに誓います」と決意を述べた。

これまで三年制の岐阜保健短大看護学科で看護師を育成していたが、より専門性を備え、国際的に活躍できる人材を育てようと、四年制の大学を開学した。

この日は、同大短期大学部リハビリテーション学科と、岐阜保健大医療専門学校との合同入学式で、リハビリテーション学科には七十三人、医療専門学校には十六人が入學した。  
(高橋貴仁)

※この記事・写真等は、中日新聞社の許諾を得て掲出しています。